

広葉樹 活用のすすめ

広葉樹林を「お宝」として活かすために

日本では、広葉樹林から伐り出された木のほとんどが安価なチップとして使われるため、広葉樹林の経済的な価値は低いとみられています。しかし、樹種や大きさに応じて利用法を工夫することで、広葉樹材はより高く売れる「お宝」となり、広葉樹林の利用と手入れがさらに行き届くようになると期待されます。

本講演会では、スギやヒノキより手間がかかる広葉樹林での伐採方法とそのコスト、複雑な樹形の広葉樹からどのような木材がどのくらい得られるのかを伐る前に見積もる技術、広葉樹林の価値の評価手法をご紹介します。日本の森林面積の約半分を占める広葉樹林の資源を活用する方法を皆様と考えたいと思います。

2023年
7/12

水

入場無料

事前申込優先

13:30~16:30 (開場12:30~)
龍谷大学響都ホール校友会館
(JR京都駅八条口前アバンティ9階)

13:35~14:05 基調講演

地域活性につなげる広葉樹林の育成管理に向けて

梶本 卓也 氏 (新潟大学佐渡自然共生科学センター森林領域 教授)

14:05~15:15 講演

広葉樹林を「お宝」とするために

齊藤 哲 (森林総合研究所 企画部研究評価科長)

広葉樹林をどうやって伐る? -伐採方法と生産コスト-

鈴木 秀典 (森林総合研究所 林業工学研究領域森林路網研究室長)

広葉樹林で使える木材はどれくらい? -原木利用率の推定方法-

小谷 英司 (森林総合研究所 森林管理研究領域資源解析研究室長)

広葉樹林のお値段は? -木材資源の価値-

山下 直子 (森林総合研究所関西支所 森林生態研究グループ長)

15:15~15:45 ポスター発表

15:45~16:25 パネルディスカッション

申し込み方法・お問い合わせ等、裏面をご覧ください。講演会の詳細は、下記ページをご覧ください。

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/fsm/events/20230712publiclecture.html>



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所関西支所

Kansai Research Center, Forestry and Forest Products Research Institute



広葉樹活用のすすめ

—広葉樹林を「お宝」として活かすために—



事前申込

Eメールにて、お申し込みください。

fsm-ren@ffpri.affrc.go.jp



その際にお名前(ふりがな)・ご所属・
ご連絡先をお知らせ下さい。

申込期限:2023年7月5日

※お申込への返信を3営業日以内に送付致します。
数日経過致しましても当所からの返信がない場合は、ご入力いただいたメールアドレスに間違い、又はお客様のメールサーバーなどにより自動的に削除された可能性がございます。以上をご確認の上、お手数ですが再度お問い合わせさせていただきますようお願い申し上げます。

※頂いた個人情報はこの講演会の業務以外には使用しません。

お問合せ先



森林総合研究所関西支所
地域連携推進室

〒612-0855 京都市伏見区桃山町永井久太郎68

TEL: 075-366-9905・9902

開催会場

龍谷大学響都ホール校友会館

〒601-8003

京都府京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階



- 地下鉄京都駅より徒歩1分
- 近鉄京都駅より徒歩3分
- JR京都駅八条口よりすぐ
店内東側のエレベータをご利用ください。